

シラバス

科目名	英語コミュニケーション I		担当者名	鈴木 由華	
学 科	スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選	選択		
授業目的	急激に進展するグローバル化の中、スポーツ界においても英語の語学力はますます重要視されています。このクラスでは今までの英語学習経験において苦手意識を持っている者にも、改めて英語をコミュニケーションツールとして学習することにより、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる英語の技能を養うことを目的としています。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①英語に対する苦手意識を払拭する。 ②基礎文法、基礎英語の習得。 ③目的、場面、状況に応じた会話力の習得。 ④積極的にコミュニケーションを図ろうとする。				
授業概要	テキスト「Smart CHOICE1 Student Book」を使用。 テキストに沿って、英語の4技能(聞く、話す、読む、書く)を基礎から学びます。 英会話に必要な表現を、講義を聞くだけではなく、クイズ形式での聞き取りや、ロールプレイ、ペアワークでの発表など生徒参加型の形式で習得します。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	オリエンテーションSelf-introduction	19	Unit7 Which one is cheaper(服装) 比較級、Listening	
	2	オリエンテーション2Useful classroom language	20	Unit7 Which one is cheaperReading, Speaking	
	3	Unit1 Nice to meet you! (トピック:国) 人称代名詞とbe動詞、Listening	21	Unit 8 They're very friendly(外見、性格)be likeとlook like、Listening	
	4	Unit1 Nice to meet you!Reading, Speaking	22	Unit8 They're very friendlyReading, Speaking	
	5	Unit2 What do you do?(仕事) 現在形と疑問詞、Listening	23	Unit9 You can visit the zoo(地元紹介)助動詞、Listening	
	6	Unit2 What do you do?Reading, Speaking	24	Unit9 You can visit the zooReading, Speaking	
	7	Unit3 Do you like noodles?(食べ物) 疑問文と否定文、Listening	25	BonusLet's watch the video (Second-hand or Traditional?)	
	8	Unit3 Do you like noodles?Reading, Speaking	26	Unit10 Is there a coffee shop?(町案内)There 構文、Listening	
	9	BonusLet's watch the video (Volcano Adventure)	27	Unit10 Is there a coffee shop?Reading, Speaking	
	10	Unit4 How often do you exercise? (スポーツ) 頻度を表す副詞、Listening	28	Unit11 I had a good time(旅行)過去形、Listening	
	11	Unit4 How often do you exercise? Reading, Speaking	29	Unit11 I had a good timeReading, Speaking	
	12	Unit5 I'm listening to music(日常) 現在進行形、Listening	30	Unit12 I'm going to go by car(交通) 未来形、Listening	
	13	Unit5 I'm listening to musicReading, Speaking	31	Unit12 I'm going to go by carReading, Speaking	
	14	Unit6 Where were you yesterday?(問題)be動詞過去形、Listening	32	What were you doing?(事故とけが) 過去進行形、Listening	
	15	Unit6 Where were you yesterday?Reading, Speaking	33	BonusLet's watch the video (Getting around Bangladesh)	
	16	Unit1~ Unit6 まとめ	34	後期期末テスト	
	17	前期期末試験	35	Business English1	
18	BonusLet's watch the video (Shona's Problem)	36	Business English2		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	課題提出・ミニテスト等による評価のフィードバック	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	20%	成績評価	合格 100～90点=S、89～80点=A、79～70点=B、69～60点=C、 不合格 59点以下=D	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	カナダ留学、大手英会話学校講師、国連機関での業務経験を持つ、現通訳案内士、英語コーチ				

シラバス

科 目 名		機能解剖学Ⅰ		担 当 者 名		町田 秀樹			
学 科		スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授 業 方 法		講義			
認定単位		2単位		選択		授 業 時 間 数		36時間	
開講学年		1学年							
授業目的		運動や健康の指導者として必要な基礎知識を得る。							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		骨や筋肉の名称を覚えるとともに、基本的な人間の機能や構造を知ること、運動や健康の指導の基礎を築く。また、自分で正しく学び続けることができる基礎を築く。							
授業概要		機能解剖学の基礎							
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容			
	1	機能解剖学の導入最低限知っておきたい骨の名称			19	神経接合部			
	2	最低限知っておきたい筋肉の名称			20	シナプスと神経伝達物質			
	3	最低限知っておきたい筋肉と骨の名称の小テスト			21	交感神経と副交感神経			
	4	骨・観世津の種類と動き			22	脳神経系			
	5	手・足・頭など細かな骨の名称			23	大脳・間脳			
	6	脊柱と骨盤の役割			24	脳幹・小脳・脊髄			
	7	筋肉についての導入			25	髄膜			
	8	筋組織・筋肉の形状と特徴			26	上行伝導路			
	9	骨格筋の微細構造			27	下行伝導路			
	10	起始停止を含めた筋肉の説明 体の前面			28	反射について①			
	11	起始停止を含めた筋肉の説明 体の前面・後面			29	反射について②			
	12	起始停止を含めた筋肉の説明 体の後面			30	脊髄神経支配領域について			
	13	起始停止を含めた筋肉の説明 肩のローテーターカフ			31	復習			
	14	骨格筋の収縮と関節の動き			32	確認テスト			
	15	復習			33				
	16	確認テスト			34				
	17	脳・神経系の導入			35				
	18	神経組織			36				
成績割合		テスト 60%			学習FB方法				
		学習態度・出席率 40%							
		レポート %			成績評価				
		合計 100%							
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫60% A≪主体的参加型学習≫15% G≪海外体感型学習≫5%							
講師プロフィール		2002年より23年間、整体業の店を経営しています。劇的に痛みを取ることで定評があります。著書に、「方が痛い腕が上がらない人のお助けBOOK」2022年9月主婦の友社。「できる人はなぜ、そこまで姿勢にこだわるのか」2015年3月翔泳社。があります。							

シラバス

科目名	救急処置法ⅠA		担当者名	石井 英一	
学 科	スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法	実習	
認定単位	1単位	開 講 期	選択	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	質の高い心肺蘇生とAEDの習得を目指し、傷病者の「社会復帰」をキーワードに「救命の連鎖」が途切れることのない社会を目指します。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本ライフセービング協会の「BLS資格」取得を目指します。				
授業概要	心肺蘇生法はじめとする応急手当に対する正しい理解、各種応急手当の実施要領について実施していく。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	ガイダンス	19	心停止の分類と心室細動という不整脈(2)	
	2	救命の連鎖(1)	20	心停止の分類と心室細動という不整脈(3)	
	3	救命の連鎖(2)	21	心室細動の治療とAEDの必要性(1)	
	4	日本の実状(1)	22	心室細動の治療とAEDの必要性(2)	
	5	日本の実状(2)	23	心室細動の治療とAEDの必要性(3)	
	6	呼吸・循環のしくみ(1)	24	心肺蘇生の実施手順(1)	
	7	呼吸・循環のしくみ(2)	25	心肺蘇生の実施手順(2)	
	8	呼吸・循環のしくみ(3)	26	心肺蘇生の実施手順(3)	
	9	血液の成分と役割(1)	27	気道異物挿入除去(1)	
	10	血液の成分と役割(2)	28	気道異物挿入除去(2)	
	11	血液の成分と役割(3)	29	気道異物挿入除去(3)	
	12	心肺蘇生の理論(1)	30	溺水事故での心肺蘇生(1)	
	13	心肺蘇生の理論(2)	31	溺水事故での心肺蘇生(2)	
	14	心肺蘇生の理論(3)	32	溺水事故での心肺蘇生(3)	
	15	胸骨圧迫の重要性(1)	33	実技テスト	
	16	胸骨圧迫の重要性(2)	34	学科テスト	
	17	胸骨圧迫の重要性(3)	35	振り返り	
	18	心停止の分類と心室細動という不整脈(1)	36	まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表の送付	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	公益財団法人 日本ライフセービング協会指導員 日本赤十字社 指導員				

シラバス

科目名	クラブマネージメントⅠ		担 当 者 名	森 佳祐、柿沼 大翔、伊藤 俊介、小野 晋一郎	
学 科	スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	選択	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	テクノスポーツ(スポーツクラブ)の運営を基礎から学び、年間を通し実践していく				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	スポーツクラブ運営に関わる(人事、会計、教育、指導、サービス、広報)全てを現場を通して学ぶ				
授業概要	スポーツクラブはどのように運営、管理、指導、サービスを提供して利益を上げていくのかを学ぶ				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1	19	会員管理実践	
	2	オリエンテーション2	20	施設管理基礎	
	3	オリエンテーション3	21	施設管理実践	
	4	クラブ運営基礎Ⅰ	22	指導管理基礎	
	5	クラブ運営基礎Ⅱ	23	指導管理実践	
	6	運営予算建ての基礎	24	物販基礎	
	7	運営予算建ての実践	25	物販実践	
	8	経費管理基礎	26	特別教室基礎	
	9	経費管理基礎	27	特別教室実践	
	10	人事管理基礎	28	総合演習Ⅰ	
	11	人事管理基礎	29	総合演習Ⅱ	
	12	広告宣伝基礎	30	総合演習Ⅲ	
	13	広告宣伝基礎	31	総合演習Ⅳ	
	14	会員管理基礎Ⅰ	32	実技Ⅰ	
	15	会員管理基礎Ⅱ	33	実技Ⅱ	
	16	会員管理実践Ⅰ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	会員管理実践Ⅱ	35	確認テスト・まとめ2	
	18	安全管理基礎	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	次回の授業内でFB	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	2022年設立、合同会社アイケンにて代表社員を務めています。 スポーツの広告代理店・フットサルコート・フットサルクラブを運営しています。				

シラバス

科目名	スイミング指導 I		担 当 者 名	加藤 健志	
学 科	スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年				
授業目的	水泳種目に於いて、健康維持増進として適切な指導ができる知識を得る。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	豊富な知識を得て、積極的に活動できる優秀な指導者を養成し、世界で活躍できる競技スポーツ選手から心身の健康増進できる優秀な指導者の育成を目的として行う。				
授業概要	①プールサイドでのドライランドトレーニング(動きづくり)を行ってから、入水し実践を行う。 ②知識・理論に関しては、グループワークを含んだ座学を行う。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	技術トレーニングのねらい	
	2	オリエンテーション2	20	技術トレーニングのねらい	
	3	オリエンテーション3	21	技術トレーニングのねらい	
	4	トレーニング理論	22	技術トレーニングの課題	
	5	トレーニング理論	23	技術トレーニングの課題	
	6	トレーニング理論	24	技術トレーニングの課題	
	7	水泳の体力トレーニング法	25	技術トレーニングの課題	
	8	水泳の体力トレーニング法	26	技術トレーニングの実践	
	9	水泳の体力トレーニング法	27	技術トレーニングの実践	
	10	水泳の体力トレーニング法	28	技術トレーニングの実践	
	11	水泳の体力トレーニング法	29	技術トレーニングの実践	
	12	水泳のメンタルトレーニング	30	水泳競技基礎・ルール	
	13	水泳のメンタルトレーニング	31	水泳競技基礎・ルール	
	14	水泳のメンタルトレーニング	32	後期実技試験 対策	
	15	水泳のメンタルトレーニング	33	後期実技試験 100m個人メドレー	
	16	テスト 対策	34	確認テスト・まとめ1	
	17	泳力テスト	35	確認テスト・まとめ2	
	18	テストの振り返り	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%				
講師プロフィール	JOC競泳オリンピック強化コーチ/日本水泳連盟 競泳強化コーチ 日本の水泳界を牽引されている講師が担当している。				

シラバス

科目名		フットサル指導Ⅰ		担 当 者 名		森 佳祐		
学 科		スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法		実習		
認定単位		2単位	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間		
開講学年		1学年						
授業目的		フットサルの知識を深め、コミュニケーション力、課題解決力を高め、スポーツの楽しさを伝える力を身につけること。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		フットサルの知識と指導法の基礎を身につけ、課題解決方法を考えるられるようになること。						
授業概要		フットサルのルールや歴史を学ぶ。 フットサルの技術や戦術を実技を通して学ぶ。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション			19	グループ戦術、定位置攻撃「バ、ブロック&コンティニュー」の実技を行う。		
	2	フットサルのルールを知る			20	グループ戦術、定位置攻撃「バラレラ、ワンツー」の実技を行う。		
	3	フットサルの歴史、現状を知る			21	グループ戦術、定位置攻撃「クロス、オーバーラップ」の実技を行う。		
	4	フットサルの基本技術を行う			22	グループ戦術、定位置攻撃「ローテーション」の実技を行う。		
	5	フットサルの基本技術を行う			23	グループ戦術、定位置攻撃「ピボ当て」の実技を行う。		
	6	ポジション「アラ、フィクソ」の実技を行う			24	守備の個人戦術「マーク、アプローチ、プレス」の実技を行う		
	7	ポジション「ピボ」の実技を行う			25	守備のグループ戦術「カバーリング、マークの受け渡し」の実技を行う		
	8	ポジション「キーパー」の実技を行う			26	守備のグループ戦術「カバーリング、マークの受け渡し」の実技を行う		
	9	攻守の段階、プレーの原則を知り実技を行う			27	グループ戦術、定位置攻撃「3-1の形」の実技を行う。		
	10	攻守の段階、プレーの原則を知り実技を行う			28	グループ戦術、定位置攻撃「3-1の形」の実技を行う。		
	11	攻撃の個人戦術を行う			29	グループ戦術、定位置攻撃「4-0の形」の実技を行う。		
	12	「カウンター」の実技を行う			30	グループ戦術、定位置攻撃「4-0の形」の実技を行う。		
	13	「カウンター」の実技を行う			31	指導法について学ぶ オーガナイズ		
	14	セットプレー「キックイン」の実技を行う			32	指導法について学ぶ コーチング		
	15	前期の総括をし、ルール、ポジション、戦術などを再確認する			33	指導法について学ぶ トレーニング構成		
	16	定期試験			34	指導法について学ぶ		
	17	試験の回答の確認をし、フットサルの理解をより深める			35	定期試験		
	18	実技を通して前期の復習をする。			36	試験の回答の確認をし、フットサルの理解をより深める		
成績割合		テスト 60%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付			
		学習態度・出席率 40%						
		レポート 0%		成績評価	出席率80%以上S90～100点 A80～89 B70～79点 C 60～69点 D59点以下は不合格			
		合計 100%						
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		NPO法人府中アスレティックフットボールクラブ、スポーツ普及推進グループリーダー。 スクール事業としては、ジュニアスクールを2004年に開校し、現在では派遣を含め、7箇所にてスクールを運営するスクールリーダー。 競技の指導としては、日本女子フットサルリーグ所属の女子トップチームや、東京都U-18選抜の監督などを歴任し、現在は、女子セカンドチームの監督						

シラバス

科目名		教育原理Ⅰ		担 当 者 名		山寺 忠之	
学 科		スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法		講義	
認定単位		2単位		開 講 期		前期	
開講学年		1学年		必・選		選択	
授業目的		前期 教育原理 教育の思想、学校教育の歴史、学校教育の意義 後期 教育心理学 こころの発達と学習の形態・方法					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:教育についての基本を理解し、考え方を身につけることを目的とする。教育は人類の歴史とともに行われてきた人間形成に関する営みである。現代はこの教育に何を求められているのか、子どもから大人までどのような学習をしていくことが良いのか、学校は何を目的として創られ、どのような活動をしている場なのかなど、学校、地域社会の教育、家庭教育のあり方を通じて考える。 後期:教師の役割は、生徒の学習を支えることと、適応を支えることにある。本講義では、これら2つの役割を果たす教師になるために必要な心理学的知識を習得することを目的とする。特に、青年期の発達の特徴を踏まえた上で、学習の意欲や仕組み、授業技法や教育評価について理解する。					
授業概要		本授業は、講義とともに、学生のグループ討論や発表会を取り入れて進めていく。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	学習や適応など教育心理の基礎的概念を理解する	
	2	オリエンテーション2			20	性習熟とその心理的影響と、恋愛関係の現状と特徴を理解する	
	3	オリエンテーション3			21	友人関係の特徴や変化と、恋愛関係の現状と特徴を理解する	
	4	教育と人間形成の意味を正確に理解する			22	エリクソンの発達理論と、アイデンティティの確立と進路選択を理解する	
	5	教育の歴史について、古代から現在までの構造的な理解を進める			23	学習に対する成熟理論的アプローチ、行動主義的アプローチを理解する	
	6	ヨーロッパの教育思想、ルソーなどを学び、教育の実際との関わりを理解する			24	動機づけと原因帰属と無気力の学習と自己効力感について理解する	
	7	日本の古代から近代までを通して学ぶ日本の教育の歴史、思想文化的な背景を			25	記憶のメカニズムについて理解する	
	8	学校がどのようにできているのか古代から近代までの範囲として学校の歴史を理解する			26	記憶や知識の種類やその性質について理解する	
	9	現代の学校の始まりである近代の学校の特徴を理解する。			27	生徒の主体的な学び方を可能にする教授方法を理解する	
	10	教員の誕生と発展について、日本の場合を中心に扱うその特徴を理解する			28	知識や人格における個性差を理解し、その個人差に応じた教育方法を理解する	
	11	地域社会と学校についての理論を学び、実際について事例を知り、地域と学校と			29	教育評価の目的とその視点や方法と評価のための情報を得る方法を理解する	
	12	教員と生徒・保護者との信頼による学校の運営についてよく考え、これからのこと			30	学級集団とその構造についてと教師と生徒の人間関係を理解する	
	13	学校のカリキュラムに関する理解を深める			31	様々な発達障害の特徴と、発達障害児に対する指導法を理解する	
	14	教育活動を行う上で、教材と教具を知り、教育方法の選が必要であることを理解する			32	いじめ、不登校、非行の現状を把握し、これらの状態にある生徒を支援する方法	
	15	学校教育は社会での教育・生涯学習との関連で、現代教育の特徴を理解する			33	教師の役割と仕事についてと教師としての成長の過程を理解する	
	16	学校教育と生涯学習とも課題である学力の問題について、最新の状況を理解する			34	確認テスト・まとめ1	
	17	教育の改革・改善について、国、地方自治体、学校のそれぞれの段階について理			35	確認テスト・まとめ2	
	18	世界の教育と日本の教育の今後のあり方を考え、教育への理解を深める			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	課題提出による評価のフィードバック	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%					
講師プロフィール		私学高等学校にて保健体育教員の指導にあたっていた					

シラバス

科目名		教育時事Ⅰ		担 当 者 名		山寺 忠之	
学 科		スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法		講義	
認定単位		4単位	開 講 期		授 業 時 間 数		72時間
開講学年		1学年	必・選				
授業目的		星槎大学のレポートの書き方の指導。 期日までにレポートの提出。 レポートの合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		星槎大学のレポート期日までに提出し、良い評価を得られるようにする。 体育教師・スポーツ指導者として資質の向上と深い自覚を涵養させる。					
授業概要		レポートの書き方の指導。 レポートの着眼点の指導。 レポート添削。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	後期オリエンテーションレポート作成 方法・提出方法 単位認定等の説明	
	2	オリエンテーション2			20	レポート作成 教育時事1	
	3	オリエンテーション3			21	レポート作成 教育時事2	
	4	レポート作成 参考文献、資料の探し方			22	レポート作成 教育時事3	
	5	レポート作成 体育科指導法1			23	レポート作成 教育時事4	
	6	レポート作成 体育科指導法2			24	レポート作成 教育時事5	
	7	レポート作成 体育科指導法3			25	レポート作成 教育時事6	
	8	レポート作成 体育科指導法4			26	レポート作成 教育時事7	
	9	レポート作成 体育科指導法5			27	レポート作成 教育時事8	
	10	レポート作成 体育科指導法6			28	レポート作成 教育時事9	
	11	レポート作成 体育科指導法7			29	レポート作成 教育時事10	
	12	レポート作成 体育科指導法8			30	科目習得試験 対策	
	13	レポート作成 体育科指導法9			31	科目習得試験 対策	
	14	レポート作成 体育科指導法10			32	科目習得試験 対策	
	15	科目習得試験 対策			33	科目習得試験 対策	
	16	科目習得試験 対策			34	確認テスト・まとめ1	
	17	科目習得試験 対策			35	確認テスト・まとめ2	
	18	科目習得試験 対策			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト 40%			学習FB方法	課題提出による評価のフィードバック	
		学習態度・出席率 40%					
		レポート 20%			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		私学高等学校にて保健体育教員の指導にあたっていた					

シラバス

科目名		ホスピタリティⅠ		担 当 者 名		相川 奏恵	
学 科		スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授 業 方 法		講義	
認定単位	2単位	開 講 期		必 選		授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選					
授業目的		感じの良いコミュニケーション力と人間力を身につける。ホスピタリティマインドを醸成し、質の高いサービスを提供できる知識とスキルを身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		■適切なコミュニケーション力と人間力を身につける ■ホスピタリティマインドやビジネスマナーを身につけ、就活力を醸成する ■様々な業界のホスピタリティや顧客心理の研究を通して視野を広げ、やりがいあるキャリア形成を目指す					
授業概要		ワークを通して自他の理解を深め、望ましい表現力と傾聴力を養い適切なコミュニケーション力を身につける。 様々な業界のホスピタリティや顧客心理の研究を通して視野を広げ、やりがいあるキャリア形成を目指す。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション・マナーの基本			19	高齢社会・コロナ禍のホスピタリティ	
	2	人間力とマナー・メラビアン法の法則			20	エンタメ産業のホスピタリティ	
	3	挨拶返事・身だしなみ・表情・態度・ことば遣い			21	中小企業のホスピタリティ	
	4	敬語①			22	宿泊産業のホスピタリティ	
	5	敬語②			23	交通産業のホスピタリティ	
	6	敬語③			24	医療現場のホスピタリティ	
	7	敬語テスト・解説			25	顧客心理①	
	8	思いやりのある言葉			26	顧客心理②	
	9	表現力を身につける(気持ちを表現する力)			27	顧客心理③	
	10	TDL①			28	顧客心理④	
	11	TDL②			29	顧客心理⑤	
	12	TDL③			30	顧客心理⑥	
	13	自己理解①			31	自己肯定感を高める	
	14	自己理解②			32	コミュニケーションマナー検定対策①	
	15	他者理解①			33	コミュニケーションマナー検定対策②	
	16	他者理解②			34	コミュニケーションマナー検定対策③	
	17	自己表現			35	就活のマナー	
	18	相互理解			36	利休七則と日本のおもてなし	
成績割合		テスト 60%			学習FB方法	個人ワーク・グループワーク発表評価とアドバイス、 定期テスト解説	
		学習態度・出席率 10%・10%					
		レポート 10%			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～ 69点 D59点以下は不合格	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育とマニュアル作成)を経て、現在は日本講師協会にて電話応対・課題解決・新入社員研修を実施。 実績は環境庁・東京都福祉保健局・各市役所・埼玉県産業振興公社・日本旅行・福島県おもてなし研修・りそな総研・SEGA・東京都済生会中央病院・FC東京・三菱電機ビルソリューションズ等					

シラバス

科目名	トレーニング指導Ⅰ		担当者名	大森 大	
学 科	スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	トレーニングの知識と実技を身に着け、正しいトレーニング指導ができるようになる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	世代別の心身の特徴を理解しながら、リスク管理ができるトレーニング指導者を育成する。 JATIを取得し、専門的知識を身につけた指導者を目指す。				
授業概要	本授業は、現場で活躍できる指導者を育成するために、講義と実技を取り入れながら進めていく。また指導者としてのスキルアップのために学生自身も積極的にトレーニングを実施していける環境づくりを行っていく。日本トレーニング指導者協会(JATI)の資格取得も目標とし、専門的な知識を身につけていく。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①	19	反応速度(反射神経)トレーニング②	
	2	オリエンテーション②	20	有酸素トレーニング①	
	3	トレーニングの基礎知識①(原理原則)	21	有酸素トレーニング②	
	4	トレーニングの基礎知識②(疾患・リスク)	22	コンディショニングの基礎知識①	
	5	トレーニングの基礎知識③(トレーニング変数)	23	コンディショニングの基礎知識②	
	6	トレーニングの基礎知識④(世代別)	24	コンディショニング①	
	7	トレーニングの基礎知識⑤(世代別)	25	コンディショニング②	
	8	トレーニングの基礎知識⑥(世代別)	26	コンディショニング③	
	9	トレーニングの基礎知識⑦(心肺持久力)	27	目標運動強度の分析	
	10	下半身のトレーニング①	28	目標運動強度の分析(発表実習)①	
	11	下半身のトレーニング②	29	目標運動強度の分析(発表実習)②	
	12	上半身のトレーニング①	30	プログラムの作成	
	13	上半身のトレーニング②	31	プログラムの解説(講義実習)①	
	14	体幹のトレーニング①	32	プログラムの解説(講義実習)②	
	15	体幹のトレーニング②	33	プログラムの実施	
	16	アジリティトレーニング①	34	プログラムの指導実習①	
	17	アジリティトレーニング②	35	プログラムの指導実習②	
	18	反応速度(反射神経)トレーニング①	36	まとめ	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	70%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	SOSアスリートラボ代表、国士舘大学女子バレーボール部S&Cコーチ、江戸川大学女子バレーボール部S&Cコーチ、高岡商業野球部S&Cコーチ				

シラバス

科目名	スポーツクラブ演習Ⅰ		担当者名	森 佳祐、柿沼 大翔、伊藤 俊介、小野 晋一郎	
学 科	スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法	演習	
認定単位	4単位	開 講 期	必選	授 業 時 間 数	144時間
開講学年	1学年	必・選			
授業目的	社会に出て、貢献できる人材になること。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実際に直接子供たちを相手に、実践を通して、社会に出て、実際の使える力を身につけること。				
授業概要	子どもたちの育成の目標を定め、指導案を作成し、実践し、フィードバックする。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	オリエンテーション開校へ向けて準備	19	スクール準備、実践、反省	
	2	開校へ向けての準備	20	スクール準備、実践、反省	
	3	開校へ向けての準備	21	スクール準備、実践、反省	
	4	開校へ向けての準備	22	スクール準備、実践、反省	
	5	開校へ向けての準備	23	スクール準備、実践、反省	
	6	スクール準備、実践、反省	24	スクール準備、実践、反省	
	7	スクール準備、実践、反省	25	スクール準備、実践、反省	
	8	スクール準備、実践、反省	26	スクール準備、実践、反省	
	9	スクール準備、実践、反省	27	スクール準備、実践、反省	
	10	スクール準備、実践、反省	28	スクール準備、実践、反省	
	11	スクール準備、実践、反省	29	スクール準備、実践、反省	
	12	スクール準備、実践、反省	30	スクール準備、実践、反省	
	13	スクール準備、実践、反省	31	スクール準備、実践、反省	
	14	スクール準備、実践、反省	32	スクール準備、実践、反省	
	15	スクール準備、実践、反省	33	スクール準備、実践、反省	
	16	スクール準備、実践、反省	34	スクール準備、実践、反省	
	17	スクール準備、実践、反省	35	スクール準備、実践、反省	
	18	スクール準備、実践、反省	36		
成績割合	テスト 0%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率 100%				
	レポート 0%		成績評価	出席率80%以上S90～100点 A80～89 B70～79点 C 60～69点 D59点以下は不合格	
	合計 100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	NPO法人府中アスレティックフットボールクラブ、スポーツ普及推進グループリーダー。 スクール事業としては、ジュニアスクールを2004年に開校し、現在では派遣を含め、7箇所にてスクールを運営するスクールリーダー。 競技の指導としては、日本女子フットサルリーグ所属の女子トップチームや、東京都U-18選抜の監督などを歴任し、現在は、女子セカンドチームの監督。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担 当 者 名	小西 飛鳥	
学 科	スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	「健康管理の推進を通じた社会への寄与」 社会の健康課題や企業・団体が実施する健康経営を学び、働く人に対する健康管理の推進活動を支援できるコンテンツ(施策)の制作をおこないます。またこれによって、社会が抱える健康課題への寄与を図ります。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1年を通じて、健康管理の推進活動を支援するコンテンツ(施策)の制作を目指します。 施策の制作にあたっては、他の授業を含めた知見を活用し、また学生自身のスポーツや体力づくりの経験を踏まえ、スポーツビジネスとして成り立つものを目指します。 ・企業や団体に働く雇用者に対する健康管理の促進支援 ・企業や団体の管理者に対する健康施策の提供支援 ・地域に暮らす人々への貢献				
授業概要	週2コマのうち、基本的に前半1コマを講義形式、後半1コマをグループワーク方式とします。 講義では授業目的や授業目標で掲げた内容に関して、特にコンテンツ(施策)制作の一助となる内容を学びます。 またコンテンツ(施策)の制作は基本的にグループワークでおこないます。グループワークではインターネット調査の実施、グループ間での議論、成果(経過)の発表をおこないます。 年間スケジュールとして、1年間で以下のサイクルを一巡させます。 Plan: 学び Do: 制作 Check: 修正 Action: 更新				
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容
	1	・ゼミの趣旨について・アイスブレイキング		19	・ターゲットティング・グループワーク(コンテンツづくり)
	2	・シラバスの説明・アイスブレイキング		20	・企画書の作成・グループワーク(コンテンツづくり)
	3	・健康経営の実践例・グループワーク(コンテンツづくり)		21	・企画書の作成・グループワーク(コンテンツづくり)
	4	・コンテンツ制作のフレーム・グループワーク(コンテンツづくり)		22	・企業へのプレゼン・グループワーク(コンテンツづくり)
	5	・企画書の作り方・グループワーク(コンテンツづくり)		23	・プレゼンを踏まえた修正・グループワーク(コンテンツづくり)
	6	・企画書の作成・グループワーク(コンテンツづくり)		24	・プレゼンを踏まえた修正・グループワーク(コンテンツづくり)
	7	・コンテンツトライアル・フィードバック		25	・プレゼンを踏まえた修正・グループワーク(コンテンツづくり)
	8	・ターゲットティング・グループワーク(コンテンツづくり)		26	・コンテンツ実施
	9	・効果検証・グループワーク(コンテンツづくり)		27	・フィードバック・アンケート集計
	10	・企画書まとめ・発表		28	・PDCAの循環・アンケート集計
	11	・コンテンツ実施		29	・総合発表
	12	・フィードバック・アンケート集計		30	・コンテンツの振り返り・グループワーク(プレゼン準備)
	13	・PDCAの循環・アンケート集計		31	・コンテンツ制作を企業に活かすには・グループワーク(プレゼン準備)
	14	・総合発表(プレゼン)		32	・プレゼン力とは・グループワーク(プレゼン準備)
	15	・健康経営とは・グループワーク(コンテンツづくり)		33	・効果検証とは・グループワーク(プレゼン準備)
	16	・健康経営とは・グループワーク(コンテンツづくり)		34	・ネクストアクションのために・グループワーク(プレゼン準備)
	17	・健康課題の整理・グループワーク(コンテンツづくり)		35	・最終グループプレゼン
	18	・健康課題の整理・グループワーク(コンテンツづくり)		36	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	グループワーク発表と発表資料の提出に対するFB	
	学習態度・出席率	60%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 発表 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>25% A<主体的参加型学習>25% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	産業保健・健康経営・組織活性化コンサルタント				

シラバス

科目名		コーチング学Ⅰ		担 当 者 名		加藤 健志	
学 科		スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授業方法		講義	
認定単位		4単位	開 講 期		選択	授 業 時 間 数	72時間
開講学年		1学年	必・選				
授業目的		スポーツコーチングに関わる知識を深め、実践できるスキルを身に付ける。 指導者としてのあり方を再認識し、対象者に対してよりよい態度や行動を行うことができる。 スポーツコーチングに限らず、課題解決や将来設計に対して自分自身を見直して律し、理想の自分に向けて導くことができるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		コーチングについて基礎的知識を理解し、指導法を身に付ける。 対象者に対してよりよい態度や行動を行うことができる。					
授業概要		自分自身や他人をサポートするコーチング学の基礎を学ぶ。 コーチングに必要なコミュニケーションスキル、コーチングの倫理的な考え方などを学ぶ。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	ガイダンス			19	トレーニング計画の立案①	
	2	コーチング学とは			20	トレーニング計画の立案②	
	3	スポーツ指導者とは			21	トレーニング計画の立案③	
	4	コーチとしての心構え			22	トレーニング計画の立案④	
	5	コーチとしての視点			23	競技スポーツとIT	
	6	トレーニングの進め方			24	スポーツプロモーション	
	7	コーチングに必要なスキル①			25	スポーツコーチの心理学	
	8	コーチングに必要なスキル②			26	コーチングにおけるモチベーションコントロール①	
	9	コーチングに必要なスキル③			27	コーチングにおけるモチベーションコントロール②	
	10	コーチングに必要なスキル④			28	コーチングにおけるメンタルトレーニング①	
	11	コーチング現場での安全管理①			29	コーチングにおけるメンタルトレーニング②	
	12	コーチング現場での安全管理②			30	競技力向上のためのマネジメント①	
	13	発達過程とコーチング①			31	競技力向上のためのマネジメント②	
	14	発達過程とコーチング②			32	チームの組織化①	
	15	分析と課題設定①			33	チームの組織化②	
	16	分析と課題設定②			34	後期筆記試験	
	17	分析と課題設定③			35	後期実技試験	
	18	前期振り返り			36	まとめ	
成績割合		テスト 30%			学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率 50%					
		レポート 20%			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		JOC競泳オリンピック強化コーチ/日本水泳連盟 競泳強化コーチ 日本の水泳界を牽引されている講師が担当している。					

シラバス

科 目 名		自 己 探 求Ⅰ		担 当 者 名		内ヶ島 蓮哉、米林 曜	
学 科		スポーツビジネス科大学コース(星槎大学)		授 業 方 法		講義	
認定単位		2単位	開 講 期		必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年		1学年	必・選				
授 業 目 的		就職活動に必要な教養、知識を身につける。					
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人として必要な身だしなみ、立ち居振る舞い、所作、一般常識を身につけどの業界に就職しても信頼を得られる人材となる。					
授 業 概 要		学校生活の過ごし方の指導 就職活動に向けたスケジュールや計画の立案と実行					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	就活準備⑧	
	2	学校生活の過ごし方①			20	就活準備⑨	
	3	学校生活の過ごし方②			21	就活準備⑩	
	4	学校生活の過ごし方③			22	就活準備⑪	
	5	学校生活の過ごし方④			23	就活準備⑫	
	6	学校生活の過ごし方⑤			24	就活準備⑬	
	7	学校生活の過ごし方⑥			25	就活準備⑭	
	8	学校生活の過ごし方⑦			26	就活準備⑮	
	9	学校生活の過ごし方⑧			27	就活準備⑯	
	10	学校生活の過ごし方⑨			28	就活準備⑰	
	11	学校生活の過ごし方⑩			29	就活準備⑱	
	12	就活準備①			30	就活準備⑲	
	13	就活準備②			31	就活準備⑳	
	14	就活準備③			32	進級準備①	
	15	就活準備④			33	進級準備②	
	16	就活準備⑤			34	進級準備③	
	17	就活準備⑥			35	進級準備④	
	18	就活準備⑦			36	進級準備⑤	
成 績 割 合		テスト			学 習 FB 方 法	授業中に行う	
		学習態度・出席率 100%					
		レポート			成 績 評 価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20 R≪実働実践型学習≫30 A≪主体的参加型学習≫50 G≪海外体感型学習≫0					
講師プロフィール							

シラバス

科目名		英語コミュニケーションⅡ		担 当 者 名		鈴木 由華	
学 科		スポーツビジネス科		授業方法		講義	
認定単位		4単位	開 講 期		授 業 時 間 数		72時間
開講学年		2学年	必・選		選択		
授業目的		急激に進展するグローバル化の中、スポーツ界においても英語の語学力はますます重要視されています。このクラスでは今までの英語学習経験において苦手意識を持っている者にも、改めて英語をコミュニケーションツールとして学習することにより、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる英語の技能を養うことを目的としています。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		①英語に対する苦手意識を払拭する。 ②基礎文法、基礎英語の習得。 ③目的、場面、状況に応じた会話力の習得。 ④積極的にコミュニケーションを図ろうとする。					
授業概要		テキスト「Smart CHOICE1 Student Book」を使用。 テキストに沿って、英語の4技能(聞く、話す、読む、書く)を基礎から学びます。 英会話に必要な表現を、講義を聞くだけではなく、クイズ形式での聞き取りや、ロールプレイ、ペアワークでの発表など生徒参加型の形式で習得します。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーションSelf-introduction			19	Unit7 Which one is cheaper(服装) 比較級、Listening	
	2	オリエンテーション2Useful classroom language			20	Unit7 Which one is cheaperReading, Speaking	
	3	Unit1 Nice to meet you! (トピック:国) 人称代名詞とbe動詞、Listening			21	Unit 8 They're very friendly(外見、性格)be likeとlook like、Listening	
	4	Unit1 Nice to meet you!Reading, Speaking			22	Unit8 They're very friendlyReading, Speaking	
	5	Unit2 What do you do?(仕事) 現在形と疑問詞、Listening			23	Unit9 You can visit the zoo(地元紹介)助動詞、Listening	
	6	Unit2 What do you do?Reading, Speaking			24	Unit9 you can visit the zooReading, Speaking	
	7	Unit3 Do you like noodles?(食べ物) 疑問文と否定文、Listening			25	BonusLet's watch the video (Second-hand or Traditional?)	
	8	Unit3 Do you like noodles?Reading, Speaking			26	Unit10 Is there a coffee shop?(町案内)There 構文、Listening	
	9	BonusLet's watch the video (Volcano Adventure)			27	Unit10 Is there a coffee shop?Reading, Speaking	
	10	Unit4 how often do you exercise? (スポーツ) 頻度を表す副詞、Listening			28	Unit11 I had a good time(旅行)過去形、Listening	
	11	Unit4 how often do you exercise? Reading, Speaking			29	Unit11 I had a good timeReading, Speaking	
	12	Unit5 I'm listening to music(日常) 現在進行形、Listening			30	Unit12 I'm going to go by car(交通) 未来形、Listening	
	13	Unit5 I'm listening to musicReading, Speaking			31	Unit12 I'm going to go by carReading, Speaking	
	14	Unit6 Where were you yesterday?(問題)be動詞過去形、Listening			32	What were you doing?(事故とけが)過去進行形、Listening	
	15	Unit6 Where were you yesterday?Reading, Speaking			33	BonusLet's watch the video (Getting around Bangladesh)	
	16	Unit1~ Unit6 まとめ			34	後期期末テスト	
	17	前期期末試験			35	Business English1	
	18	BonusLet's watch the video (Shona's Problem)			36	Business English2	
成績割合		テスト 30%			学習FB方法	課題提出、ミニテストなどによる評価のフィードバック	
		学習態度・出席率 50%					
		レポート 20%			成績評価	合格 100～90点＝S、89～80点＝A、79～70点＝B、69～60点＝C、 不合格 59点以下＝D	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%					
講師プロフィール		カナダ留学、大手英会話学校講師、国連機関での業務経験を持つ、現通訳案内士、英語コーチ					

シラバス

科目名		資格対策講座Ⅱ		担 当 者 名		大森 大	
学 科		スポーツビジネス科		授業方法		講義	
認定単位		2単位	開 講 期		授 業 時 間 数		36時間
開講学年		2学年	必・選				
授業目的		トレーニングの知識を身に着け、正しいトレーニング指導ができるようになる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		健康運動実践指導者、JATIを取得し、専門的知識を身につけた指導者を指す。					
授業概要		本授業は、現場で活躍できる指導者を育成するための講義を行う。また指導者としてのスキルアップのために学生自身も積極的にトレーニングを実施していける環境づくりを行っていく。健康運動実践指導者、日本トレーニング指導者協会(JATI)の資格取得も目標とし、専門的な知識を身につけていく。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	筋力トレーニングの基礎理論	
	2	カラダの構造			20	持久力トレーニングの基礎理論	
	3	カラダの構造			21	持久力トレーニングの基礎理論	
	4	カラダの構造			22	持久力トレーニングの基礎理論	
	5	カラダの構造			23	持久力トレーニングの基礎理論	
	6	カラダの構造			24	運動・トレーニングと栄養	
	7	カラダと運動			25	運動・トレーニングと栄養	
	8	カラダと運動			26	運動・トレーニングと栄養	
	9	カラダと運動			27	運動・トレーニングと栄養	
	10	カラダと運動			28	体重管理	
	11	カラダと運動			29	体重管理	
	12	トレーニングの基礎理論			30	体重管理	
	13	トレーニングの基礎理論			31	スポーツ障害	
	14	トレーニングの基礎理論			32	スポーツ障害	
	15	トレーニングの基礎理論			33	スポーツ障害	
	16	筋力トレーニングの基礎理論			34	スポーツ障害	
	17	筋力トレーニングの基礎理論			35	コンディショニングマネジメント	
	18	筋力トレーニングの基礎理論			36	コンディショニングマネジメント	
成績割合		テスト 50%			学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率 40%					
		レポート 10%			成績評価	出席率80%以上	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		SOSアスリートラボ代表、江戸川大学女子バレーボール部S&Cコーチ、高岡商業野球部S&Cコーチ					

シラバス

科目名	救急処置法Ⅱ		担 当 者 名	石 井 英 一	
学 科	スポーツビジネス科		授業方法	実習	
認定単位	1単位	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	2学年				
授業目的	病気やケガ、不慮の事故、自然災害など何らかのアクシデントで人が倒れた際の対処法を“知っている”から“実践できる”へ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	不慮の事故や急病になった場合、医療機関に到着するまでの間、適切な救急処置が大切である。率先して適切な救急処置ができる人材を育成することを目標とする。				
授業概要	救急処置の理論と技術を習得し、現場で迅速且つ適切な処置ができることを目標とする。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	ガイダンス	19	固定法②	
	2	小児への一次救命処置①	20	固定法③	
	3	小児への一次救命処置②	21	搬送法①	
	4	乳児への一次救命処置①	22	搬送法②	
	5	乳児への一次救命処置②	23	搬送法③	
	6	事故防止の重要性	24	擦り傷・切り傷	
	7	実施上の留意点	25	ねんざ・脱臼	
	8	出血①症状の確認	26	打撲	
	9	固定法②	27	骨折①	
	10	出血②直接圧迫止血法	28	骨折②	
	11	出血③間接圧迫止血法	29	やけど	
	12	RICE処置①	30	過換気症候群	
	13	RICE処置②	31	熱中症	
	14	RICE処置③	32	急性アルコール中毒	
	15	包帯法①	33	試験と解説	
	16	包帯法②	34	実技テスト①	
	17	包帯法③	35	実技テスト②	
	18	固定法①	36	まとめ	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	実技・課題提出による評価のフィードバック	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点、A:80～89、B:70～79点、C:60～69点、D:59点 以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	公益財団法人 日本ライフセービング協会 指導員 日本赤十字社 指導員				

シラバス

科目名	クラブマネージメントⅡ		担 当 者 名	森 佳祐、柿沼 大翔、伊藤 俊介、小野 晋一郎	
学 科	スポーツビジネス科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	選択	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	テクノスポーツ(スポーツクラブ)の運営を基礎から学び、年間を通し実践していく				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	スポーツクラブ運営に関わる(人事、会計、教育、指導、サービス、広報)全てを現場を通して学ぶ				
授業概要	スポーツクラブはどのように運営、管理、指導、サービスを提供して利益を上げていくのかを学ぶ				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1	19	会員管理実践	
	2	オリエンテーション2	20	施設管理基礎	
	3	オリエンテーション3	21	施設管理実践	
	4	クラブ運営基礎Ⅰ	22	指導管理基礎	
	5	クラブ運営基礎Ⅱ	23	指導管理実践	
	6	運営予算建ての基礎	24	物販基礎	
	7	運営予算建ての実践	25	物販実践	
	8	経費管理基礎	26	特別教室基礎	
	9	経費管理実践	27	特別教室実践	
	10	人事管理基礎	28	総合演習Ⅰ	
	11	人事管理実践	29	総合演習Ⅱ	
	12	広告宣伝基礎	30	総合演習Ⅲ	
	13	広告宣伝実践	31	総合演習Ⅳ	
	14	会員管理基礎Ⅰ	32	実技Ⅰ	
	15	会員管理基礎Ⅱ	33	実技Ⅱ	
	16	会員管理実践Ⅰ	34	確認テスト・まとめ1	
	17	会員管理実践Ⅱ	35	確認テスト・まとめ2	
	18	安全管理基礎	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	次回の授業内でFB	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	2022年設立、合同会社アイケンにて代表社員を務めています。 スポーツの広告代理店・フットサルコート・フットサルクラブを運営しています。				

シラバス

科目名		エアロビクス概論		担 当 者 名		三辻 浩子						
学 科		スポーツビジネス科		授業方法		講義						
認定単位		2単位		開 講 期								
開講学年		2学年		必・選		選択						
				授 業 時 間 数		36時間						
授業目的		インストラクター・トレーナーになるための基礎理論を学ぶ。筆記試験の合格を目指し、フィットネス基礎理論/エアロビクダダンス指導理論/レジスタンスエクササイズ指導理論/ストレッチエクササイズ指導理論/グループエクササイズ指導理論の理論を学ぶ。										
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・日本フィットネス協会GFI資格(ADI/REI/SEI)の取得 ・健康運動実践指導者資格の取得										
授業概要		筆記試験合格のために、エアロビクダダンス/レジスタンスエクササイズ/ストレッチエクササイズの理論を学ぶ。テキストに合わせて記入プリントを穴埋めしていく。テスト前には模擬問題などを解く。										
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容						
	1	日本の人口、日本人の死因、疾病傾向など			19	食事と栄養についてなど						
	2	運動と健康、肥満と疾病の関係など			20	日本人の食事バランスガイドなど						
	3	健康日本21、メタボリックシンドロームとロコモティブシンドローム、特定保健など			21	3大栄養素について(糖質・脂質・タンパク質)など						
	4	骨格と骨についてなど			22	ミネラル・ビタミン・水についてなど						
	5	筋肉について、骨格筋の分類など			23	身体組成、肥満の判定基準、体重管理など						
	6	関節の動き(キネシオロジー)、主働筋と拮抗筋など			24	運動の心理的効用、運動の開始と継続など						
	7	神経系のしくみと働き、反射についてなど			25	行動変容の理論、運動とストレスなど						
	8	骨格筋の構造と筋活動のしくみなど			26	運動中止の条件、外傷と障害についてなど						
	9	骨格筋の活動様式、筋繊維タイプ、運動単位など			27	運動に関わる整形外科的な傷害と発生要因など						
	10	運動のためのエネルギー供給機構、有酸素性と無酸素性運動など			28	運動障害、応急処置についてなど						
	11	呼吸器の仕組みと働きなど			29	運動に関わる内科的傷害・疾患への対応について、ADEについてなど						
	12	循環器機能の構造と機能など			30	グループエクササイズ指導の定義と役割についてなど						
	13	体力について、年齢と体力など			31	グループエクササイズ指導の実際、プロになるための心得など						
	14	身体と体力の男女差について			32	ストレッチエクササイズの筆記対策						
	15	トレーニングの原理と原則など			33	エアロビクダダンスの筆記対策						
	16	トレーニングの条件(FITT)、運動強度など			34	レジスタンスエクササイズの筆記対策						
	17	METsと運動強度、エネルギー消費量についてなど			35	卒業試験と解説						
	18	運動処方についてなど			36	フィットネス基礎理論/エアロビクダダンス/レジスタンスエクササイズ/ストレッチエ						
成績割合		テスト			筆記テスト 25%		学習FB方法		課題による評価のフィードバック			
		学習態度・出席率									出席(欠席1回に付きマイナス5点・遅刻早退マイナス2点)25%	
		レポート			記入プリント・練習問題・キネシオロジーなど 50%		成績評価				出席率80%以上 S:90～100点、A:80～89、B:70～79点、C:60～69点、D:59点 以下は不合格	
		合計			100%							
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%										
講師プロフィール		資格など:健康運動指導士・JAF/A/エグザミナー・健康運動実践指導者評価委員 職場:大学&専門学校非常勤講師・都立高校&市町村の生涯学習講座担当・池袋西武カラダステーション健康アドバイザー 経歴:ヤクルトスワローズ”ヤクルト体操”考案指導、千葉県白井町”なし坊体操Ⅱ”考案 監修 受賞:フィットネスダダンス全国大会最優秀賞3回受賞・優秀賞&企業賞W受賞・フィットネスレガシー2021にて日本フィットネス協会代表理事賞受賞・フィットネスレガシー2023にて日本エアロビクダ連盟理事賞受賞										

シラバス

科目名	エアロビクスダンスⅡ		担 当 者 名	三辻 浩子	
学 科	スポーツビジネス科		授業方法	実習	
認定単位	2単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	2学年	必・選	選択		
授業目的	インストラクター・トレーナーになるための基礎理論を学ぶ。実技試験の合格を目指し、エアロビックダンス/レジスタンスエクササイズ/ストレッチエクササイズを学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	・日本フィットネス協会GFI資格(ADI/REI/SEI)の取得 ・健康運動実践指導者資格の取得				
授業概要	実技試験合格のために、エアロビックダンス/レジスタンスエクササイズ/ストレッチエクササイズの正しいフォーム、プログラム作り、指導法を身につける。				
授 業 計 画 表		授業内容		授業内容	
	1	Warm-upを習得する①	19	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)② 健康運動実践指導者資格対策②	
	2	Warm-upを習得する② レジスタンスの指導法①(スクワット)	20	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)③ 健康運動実践指導者資格対策③	
	3	Warm-upを習得する③ レジスタンスの指導法②(プッシュアップ)	21	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)④ 健康運動実践指導者資格対策④	
	4	Warm-upを習得する④ レジスタンスの指導法③(カールアップ)	22	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)⑤ 健康運動実践指導者資格対策⑤	
	5	Warm-upを習得する⑤ AD/REベーシックインストラクター試験の用意①	23	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)⑥ 健康運動実践指導者資格対策⑥	
	6	Warm-upを指導する⑥ AD/REベーシックインストラクター試験の用意②	24	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)⑦ RE/SE試験対策①	
	7	Warm-upを指導する⑦ AD/REベーシックインストラクター試験の用意③	25	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)⑧ RE/SE試験対策②	
	8	Warm-upを指導する⑧ AD/REベーシックインストラクター試験の用意④	26	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)⑨ RE/SE試験対策③	
	9	Warm-upを指導する⑨ SEベーシックインストラクター試験の用意①	27	ADI(エアロビックダンス)の実技試験	
	10	Warm-upを指導する⑩ SEベーシックインストラクター試験の用意②	28	REI(レジスタンスエクササイズ)の実技試験	
	11	ADBI(エアロビックダンスベーシックインストラクター)の検定試験	29	SEI(ストレッチエクササイズ)の実技試験	
	12	REBI(レジスタンスエクササイズベーシックインストラクター)の検定試験	30	実技追試験	
	13	SEBI(ストレッチエクササイズベーシックインストラクター)の検定試験	31	エアロビックダンス指導理論筆記対策①	
	14	Warm-up指導テスト① ADの作品作成(ADI検定試験の内容)①	32	エアロビックダンス指導理論筆記対策②	
	15	Warm-up指導テスト② ADの作品作成(ADI検定試験の内容)②	33	レジスタンスエクササイズ指導理論筆記対策①	
	16	Warm-up指導テスト③ ADの作品作成(ADI検定試験の内容)③	34	レジスタンスエクササイズ指導理論筆記対策②	
	17	Warm-up指導テスト④ ADの作品作成(ADI検定試験の内容)④	35	ストレッチエクササイズ指導理論筆記対策①	
	18	ADの作品指導(ADI検定試験の内容)① 健康運動実践指導者資格対策①	36	ストレッチエクササイズ指導理論筆記対策②	
成績割合	テスト	実技試験の内容から採点 25%	学習FB方法	課題による評価のフィードバック	
	学習態度・出席率	出席(1回欠席マイナス5点/遅刻早退見学マイナス2点) 50%			
	レポート	提出物(ステップシートなど) 25%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点、A:80～89、B:70～79点、C:60～69点、D:59点 以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習>50% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	資格など:健康運動指導士・JAF/A/エグザミネー・健康運動実践指導者評価委員 職場:大学&専門学校非常勤講師・都立高校&市町村の生涯学習講座担当・池袋西武カラダステーション健康アドバイザー 経歴:ヤクルトスワローズ”ヤクルト体操”考案指導、千葉県白井町”なし坊体操Ⅱ”考案 監修 受賞:フィットネスダンス全国大会最優秀賞3回受賞・優秀賞&企業賞W受賞・フィットネスレガシー2021にて日本フィットネス協会代表理事賞受賞・フィットネスレガシー2023にて日本エアロビック連盟理事賞受賞				

シラバス

科目名		スイミング指導Ⅱ		担 当 者 名		加藤 健志		
学 科		スポーツビジネス科		授 業 方 法		実習		
認定単位		2単位	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間		
開講学年		2学年						
授業目的		水泳種目に於いて、健康維持増進として適切な指導ができる知識を得る。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		豊富な知識を得て、積極的に活動できる優秀な指導者を養成し、世界で活躍できる競技スポーツ選手から心身の健康増進できる優秀な指導者の育成を目的として行う。						
授業概要		①プールサイドでのドライランドトレーニング(動きづくり)を行ってから、入水し実践を行う。 ②知識・理論に関しては、グループワークを含んだ座学を行う。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1			19	オリエンテーション		
	2	オリエンテーション2			20	健康実践指導者、実技試験対策4		
	3	オリエンテーション3			21	健康実践指導者、実技試験対策5		
	4	基礎技術1			22	健康実践指導者、実技試験対策6		
	5	基礎技術2			23	健康実践指導者、実技試験対策7		
	6	健康づくり運動の基礎1			24	健康運動実践指導者 実技試験 振り返り		
	7	健康づくり運動の基礎2			25	技術トレーニングの課題		
	8	健康づくり運動の基礎3			26	技術トレーニングの課題		
	9	健康づくり運動の基礎4			27	技術トレーニングの課題		
	10	水泳・水中運動1			28	技術トレーニングの課題		
	11	水泳・水中運動2			29	技術トレーニングの課題		
	12	水泳・水中運動3			30	水泳競技基礎・ルール		
	13	水泳・水中運動4			31	水泳競技基礎・ルール		
	14	健康実践指導者、実技試験対策1			32	後期実技試験 対策		
	15	健康実践指導者、実技試験対策2			33	後期実技試験1 200m個人メドレー		
	16	健康実践指導者、実技試験対策3			34	後期実技試験2 200m個人メドレー		
	17	前期実技試験 対策			35	確認テスト・まとめ1		
	18	前期実技試験			36	確認テスト・まとめ2		
成績割合		テスト 30%			学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率 30%						
		レポート 40%			成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計 100%						
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		JOC競泳オリンピック強化コーチ/日本水泳連盟 競泳強化コーチ 日本の水泳界を牽引されている講師が担当している						

シラバス

科目名	マッサージ・ストレッチングⅡ		担当者名	町田 秀樹	
学 科	スポーツビジネス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	基本的な解剖学の知識を得ることで、感覚ではなく本当の体の動きを一致させ、運動やスポーツの適切な指導につなげる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	運動やスポーツの指導において個々の適性を見抜き、その人にあった指導を導き出すために、人間の動きや重心の変化などが判るようになること。また、健康産業に携わる者として基本的な体の仕組みを知ることです。健康増進へ寄与できるようにする。				
授業概要	1年生の基本的な知識に、もう少し発展した基礎知識をつける。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	基本的エネルギー産生について ①	19	ハムストリングスのストレッチについて	
	2	基本的エネルギー産生について ②	20	運動で起こりうるケガについての基本的知識 ハムストリングスを例に	
	3	基本的エネルギー産生について ③	21	肩周辺の筋肉のストレッチについて	
	4	基本的エネルギー産生について ④	22	腹部のインナーマッスル・腹横筋について	
	5	解剖学 視覚	23	大腰筋腸腰筋群について。体は立体であることを理解する。	
	6	解剖学 聴覚	24	腰痛などで話題になる反り腰について	
	7	解剖学 循環器①	25	関節の可動域について。状況による可動域の変化について。	
	8	解剖学 循環器②	26	関節の可動域について。背骨。	
	9	解剖学 免疫について	27	真直ぐについての考察。①脚	
	10	解剖学 呼吸器	28	真直ぐについての考察。②肩	
	11	解剖学 消化器 口、食道、胃	29	真直ぐについての考察。③	
	12	解剖学 消化器 小腸、大腸	30	安全な体の使い方を考える。	
	13	解剖学 腎臓	31	ストレッチやマッサージなど、人の体に力を加えることの怖さについて。	
	14	解剖学 肝臓、胆のう、すい臓	32	体の使い方について重要な点を話し合う。	
	15	運動と水分摂取	33	確認テスト	
	16	復習	34		
	17	確認テスト	35		
	18	バイオメカニクスのデモの復讐	36		
成績割合	テスト 60%		学習FB方法	座学。必要に応じて実技。	
	学習態度・出席率 40%				
	レポート 0%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計 100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%				
講師プロフィール	2002年より整体業の店を開業しています。劇的に痛みを取ることで定評があります。著書に、「肩が痛い」「腕が上がらない」人のお助けBOOKが2022年9月・主婦の友社から、「できる人はなぜ、そこまで姿勢にこだわるのか」が2015年3月・翔泳社から出版されています。				

シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担 当 者 名		相川 奏恵		
学 科		スポーツビジネス科		授 業 方 法		講義		
認定単位		2単位	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間		
開講学年		2学年						
授業目的		社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる						
授業概要		コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への 対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー			19	電話応対③		
	2	文章上達1			20	バリアフリー①		
	3	自己分析・逆転の発想			21	バリアフリー②		
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活			22	来客応対・名刺交換		
	5	実習のマナー			23	訪問・席次・紹介		
	6	働くということ			24	クレーム対応①		
	7	ストローク			25	クレーム対応②		
	8	8つの意識			26	指示命令の受け方と報連相		
	9	顧客心理			27	上手な仕事の進め方①		
	10	敬語①			28	上手な仕事の進め方②		
	11	敬語②			29	上手な仕事の進め方③		
	12	敬語③			30	段取り力・8つの意識		
	13	敬語テスト・世界の学校			31	文章上達②		
	14	ビジネス文書①			32	創造力を高める①		
	15	ビジネス文書②			33	想像力を高める②		
	16	会社の使命・社員の役割			34	想像力を高める③		
	17	電話応対①			35	愛される社員になるために・上手な指導の受け方		
	18	電話応対②			36	振り返り・まとめ		
成績割合		テスト 60%			学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説		
		学習態度・出席率 10%・20%						
		レポート 10%			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計 100%						
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、各市役所、埼玉県産業振興公社・東京都済生会中央病院・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA・FC東京他						

シラバス

科目名		トレーニング指導Ⅱ		担 当 者 名		大森 大		
学 科		スポーツビジネス科		授 業 方 法		実習		
認定単位		2単位	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間		
開講学年		2学年						
授業目的		トレーニングの知識と実技を身に着け、正しいトレーニング指導ができるようになる。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		世代別の心身の特徴を理解しながら、リスク管理ができるトレーニング指導者を育成する。 健康運動実践指導者を取得し、専門的知識を身につけた指導者を目指す。						
授業概要		本授業は、現場で活躍できる指導者を育成するために、講義と実技を取り入れながら進めていく。また指導者としてのスキルアップのために学生自身も積極的にトレーニングを実施していける環境づくりを行っていく。健康運動実践指導者の資格取得も目標とし、専門的な知識を身につけていく。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	BIG3の習得			19	トレーニング指導(実習)		
	2	BIG3の習得			20	トレーニング指導テスト		
	3	BIG3の習得			21	トレーニング指導テスト		
	4	BIG3の習得			22	プログラムの作成		
	5	BIG3の習得			23	プログラムの作成		
	6	BIG3のテスト			24	プログラムの解説(講義実習)		
	7	BIG3のテスト			25	プログラムの解説(講義実習)		
	8	クリーンの習得			26	プログラム作成テスト		
	9	クリーンの習得			27	プログラム作成テスト		
	10	クリーンのテスト			28	振り返り		
	11	補助種目の習得			29	プログラム指導(講義)		
	12	補助種目の習得			30	プログラム指導(講義)		
	13	補助種目の習得			31	プログラム指導(実習)		
	14	補助種目のテスト			32	プログラム指導(実習)		
	15	補助種目のテスト			33	プログラム指導テスト		
	16	トレーニング指導(講義)			34	プログラム指導テスト		
	17	トレーニング指導(講義)			35	総合演習テスト		
	18	トレーニング指導(実習)			36	総合演習テスト		
成績割合		テスト			50%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付
		学習態度・出席率			40%			
		レポート			10%		成績評価	出席率80%以上
		合計			100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		SOSアスリートラボ代表、国士舘大学女子バレーボール部S&Cコーチ、江戸川大学女子バレーボール部S&Cコーチ、高岡商業野球部S&Cコーチ						

シラバス

科目名		応用ゼミ		担 当 者 名		小野 晋一郎		
学 科		スポーツビジネス科		授業方法		ゼミ		
認定単位		4単位		開 講 期				
開講学年		2学年		必・選		必選		
				授 業 時 間 数		72時間		
授業目的		テクノスポーツの会員数増やす方法を考えながら、イベントなどを企画し、実働実践型学習を行い、深い学びにする。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		テクノスポーツの会員数を増やすことを目的に、学生自ら企画し、実学として実際に経験と体験を行い失敗と成功を学ぶ。						
授業概要		各自が将来スポーツ業界で働くための行動力、企画案、コミュニケーション能力を身に付ける。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	オリエンテーション			19	グループA発表		
	2	チーム編成			20	中間発表		
	3	テーマ選定			21	フィードバック		
	4	テーマ選定			22	グループA発表		
	5	企画について理解する①			23	グループB発表		
	6	企画について理解する②			24	グループA発表		
	7	企画について理解する③			25	グループB発表		
	8	課題解決テーマを考察する			26	グループA発表		
	9	課題解決方法を企画する			27	グループB発表		
	10	企画書制作			28	グループA発表		
	11	企画書制作			29	グループB発表		
	12	企画書制作			30	グループA発表		
	13	グループA発表			31	グループB発表		
	14	グループB発表			32	グループA発表		
	15	グループA発表			33	グループB発表		
	16	グループB発表			34	最終発表		
	17	グループA発表			35	フィードバック		
	18	グループB発表			36	レポート		
成績割合		テスト 40%			学習FB方法		レポート提出、発表のフィードバック	
		学習態度・出席率 40%						
		レポート 20%			成績評価		出席率80%以上 S:90～100点、A:80～89、B:70～79点、C:60～69点、D:59点 以下は不合格	
		合計 100%						
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール								

シラバス

科目名		キャリア開発 I		担 当 者 名		葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、井上 一輝、山本 友梨香、野上 伴睦	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位		2単位	開 講 期		選択	授 業 時 間 数	36時間
開講学年		1学年	必・選				
授業目的		卒後VISIONに磨きをかけ、解像度を上げる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し評価がランクアップしていること。					
授業概要		未来デザインをケーススタディする。 好奇心から社会変化を探究し、自分未来を事例探究する。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	オリエンテーション	
	2	オリエンテーション			20	企業人講話	
	3	卒後VISIONとは			21	企業人講話	
	4	働くこととは			22	ガクチカ分析	
	5	卒業生講話			23	ガクチカ分析	
	6	卒業生講話			24	起業家講話	
	7	卒後VISION書き直し			25	起業家講話	
	8	グローバル(IW6/9-20)			26	卒後VISION書き直し	
	9	グローバル(IW6/9-20)			27	特別講座準備	
	10	働き方について(キャリアの選択肢)			28	特別講座準備	
	11	就活キックオフ・(履歴書提出)			29	最終報告会	
	12	卒後VISION(コンテスト7/25/26)			30	最終報告会	
	13	企業人講話			31	1年振り返り	
	14	企業人講話			32	1年振り返り	
	15	卒後VISION書き直し			33	金曜日のみ)インターンシップについて	
	16	中間報告会			34	金曜日のみ)インターンシップについて	
	17	水曜日のみ)インターンシップについて			35	まとめ	
	18	水曜日のみ)インターンシップについて			36	まとめ	
成績割合		テスト 0%			学習FB方法	提出された卒後VISIONと各課題への評価	
		学習態度・出席率 30% (授業態度と課題の提出)					
		レポート 70% (卒後VISIONの提出)			成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点 以下は不合格	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。					

シラバス

科目名		日本語演習 I (N1)		担 当 者 名		楊 陽、岡崎 志織			
学 科				授業方法		講義			
認定単位		4単位		選択		授 業 時 間 数		72時間	
開講学年		1学年							
授業目的		授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。							
授業概要		教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトベ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。							
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容			
	1	プレースメントテスト			19	日本語の読解及び文法17			
	2	オリエンテーション、日本語の読解及び文法1			20	日本語の読解及び文法18			
	3	日本語の読解及び文法2			21	日本語の読解及び文法 19			
	4	日本語の読解及び文法3			22	日本語の読解及び文法 20			
	5	日本語の読解及び文法4			23	日本語の読解及び文法 21			
	6	日本語の読解及び文法5			24	日本語の読解及び文法 22			
	7	日本語の読解及び文法6			25	日本語の読解及び文法23			
	8	日本語の読解及び文法7			26	日本語の読解及び文法24			
	9	日本語の読解及び文法8			27	日本語の読解及び文法25			
	10	日本語の読解及び文法9			28	日本語の読解及び文法26			
	11	日本語の読解及び文法10			29	日本語の読解及び文法27			
	12	日本語の読解及び文法11			30	日本語の読解及び文法28			
	13	日本語の読解及び文法12			31	日本語の読解及び文法 29			
	14	前期末試験			32	日本語の読解及び文法 30			
	15	日本語の読解及び文法13			33	日本語の読解及び文法 31			
	16	日本語の読解及び文法14			34	日本語の読解及び文法 32			
	17	日本語の読解及び文法15			35	学年末試験			
	18	日本語の読解及び文法16			36	試験返却、解説			
成績割合		テスト 60%			学習FB方法		定期的にまとめテストにてフィードバック		
		学習態度・出席率 30%							
		レポート 小テスト10%			成績評価		出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59		
		合計 100%							
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫0% G≪海外体感型学習≫0%							
講師プロフィール		大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。							

シラバス

科目名		日本語演習 I (N2)		担 当 者 名		楊 陽、岡崎 志織			
学 科				授 業 方 法		講義			
認定単位		4単位		開 講 期 必・選		授 業 時 間 数		72時間	
開講学年		1学年							
授業目的		授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。							
授業概要		教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。							
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容			
	1	プレースメントテスト			19	日本語の読解及び文法16			
	2	オリエンテーション/日本語の読解及び文法1			20	日本語の読解及び文法17			
	3	日本語の読解及び文法 1			21	日本語の読解及び文法18			
	4	日本語の読解及び文法 2			22	日本語の読解及び文法19			
	5	日本語の読解及び文法 3			23	日本語の読解及び文法 20			
	6	日本語の読解及び文法 4			24	日本語の読解及び文法 21			
	7	日本語の読解及び文法 5			25	日本語の読解及び文法 22			
	8	日本語の読解及び文法 6			26	日本語の読解及び文法 23			
	9	日本語の読解及び文法 7			27	日本語の読解及び文法24			
	10	日本語の読解及び文法 8			28	日本語の読解及び文法25			
	11	日本語の読解及び文法 9			29	日本語の読解及び文法26			
	12	日本語の読解及び文法 10			30	日本語の読解及び文法27			
	13	日本語の読解及び文法 11			31	日本語の読解及び文法28			
	14	前期末試験			32	日本語の読解及び文法29			
	15	日本語の読解及び文法12			33	日本語の読解及び文法 30			
	16	日本語の読解及び文法13			34	日本語の読解及び文法 31			
	17	日本語の読解及び文法14			35	学年末試験			
	18	日本語の読解及び文法15			36	試験返却、解説			
成績割合		テスト 60%			学習FB方法		まとめテストの後にフィードバック		
		学習態度・出席率 30%							
		レポート 小テスト10%			成績評価		出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59		
		合計 100%							
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫0% G≪海外体験型学習≫0%							
講師プロフィール		大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有、米カリフォルニア大学にて英語教員免許【TESL】取得、 日米の教員免許所有 長い海外経験から外国人留学生の立場に立った、わかりやすい日本語の授業を心がけています。							

シラバス

科目名		大学支援 総合 I		担 当 者 名		煤村 麻里子	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選		選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的		産業能率大学の履修科目を併修するためのサポート講義					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		産業能率大学の1年次履修科目について理解を深める					
授業概要		産業能率大学で1年次に履修する科目の重要ポイントを学習し、レポート・科目習得試験に向けての準備を行う					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	ガイダンス			19	企画力を強化する	
	2	ガイダンス			20	考える力をつける	
	3	社会人の常識とマナー			21	考える力をつける	
	4	社会人の常識とマナー			22	考える力をつける	
	5	社会人の常識とマナー			23	考える力をつける	
	6	ビジネス文書&メールの書き方			24	考える力をつける	
	7	ビジネス文書&メールの書き方			25	コミュニケーション論	
	8	ビジネス文書&メールの書き方			26	コミュニケーション論	
	9	ビジネス文書&メールの書き方			27	コミュニケーション論	
	10	情報分析力を鍛える			28	コミュニケーション論	
	11	情報分析力を鍛える			29	コミュニケーション論	
	12	情報分析力を鍛える			30	自由が丘とブランディング	
	13	情報分析力を鍛える			31	自由が丘とブランディング	
	14	情報分析力を鍛える			32	自由が丘とブランディング	
	15	企画力を強化する			33	自由が丘とブランディング	
	16	企画力を強化する			34		
	17	企画力を強化する			35		
	18	企画力を強化する			36		
成績割合		テスト 30%			学習FB方法	前期末試験および後期末試験の評価結果をそれぞれ学生にFBする	
		学習態度・出席率 30%					
		レポート 20%			成績評価	前期末試験、後期末試験の評価点の平均値を年度末の評価点とする。テクノスで定めた相対評価により評価点の補正を行う。	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール		コンピュータ会社勤務を経て、大学・短大・専門学校で非常勤講師を務めている。 現在まで10年間産業能率大学の通学、通信講座で非常勤講師を兼任している。 産業能率大学では、マーケティング、マネジメント領域の科目を7科目担当し、スクーリング、対面、レポート添削を行っている。					

シラバス

科目名		大学支援 総合 I		担 当 者 名		吉田 緑	
学 科				授業方法		講義	
認定単位		4単位	開 講 期		選択	授 業 時 間 数	72時間
開講学年		1学年	必・選				
授業目的		本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論)である。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすることを目標とする。					
授業概要		①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験、受講者の希望に合わせて授業内容が変わる場合もある。					
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19	民法:債権(総論・各論)基礎編	
	2	オリエンテーション			20	民法(債権総論):第1課題	
	3	オリエンテーション			21	民法(債権総論):第2課題	
	4	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方			22	民法(債権各論):第1課題	
	5	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方			23	民法(債権各論):第2課題	
	6	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方			24	憲法:基礎編	
	7	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方			25	憲法:基礎編	
	8	レポートの書き方			26	憲法:第1課題	
	9	レポートの書き方			27	憲法:第2課題	
	10	刑法:基礎編			28	残りの課題	
	11	刑法:基礎編			29	残りの課題	
	12	刑法:基礎編			30	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	13	刑法:基礎編			31	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	14	刑法(総論):第1課題			32	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	15	刑法(総論):第2課題			33	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	16	民法:基礎編			34	まとめ	
	17	民法:基礎編			35	まとめ	
	18	民法:債権(総論・各論)基礎編			36	まとめ	
成績割合		テスト 0%			学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率 80%					
		レポート 20%			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>60% G<海外体感型学習>0%					
講師プロフィール		他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でもある。					

シラバス

科目名		大学支援 総合 I		担 当 者 名		高木 佳子	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選		選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的		国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるレポート作成の技術の習得も目指していく。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。					
授業概要		日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのレポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について 履修科目のレポート課題提出について			19	「国文学概論」 課題1 レポート作成に向けて	
	2	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について			20	「国文学概論」 課題1 レポート作成	
	3	授業オリエンテーション 国文学科目概要・講義概説			21	「国文学概論」 古代歌謡とは	
	4	「国文学基礎講義」レポート課題概説 レポート作成に向けて			22	「国文学概論」 歌謡と和歌	
	5	「国文学基礎講義」 万葉集			23	「国文学概論」 口誦歌謡と記載和歌	
	6	「国文学基礎講義」『万葉集』について			24	「国文学概論」 課題2 レポート作成に向けて	
	7	「国文学基礎講義」『万葉集』の四季の歌			25	「国文学概論」 課題2 レポート作成	
	8	「国文学基礎講義」『万葉集』日本的な自然観			26	「国文学講義」I(上代)『万葉集』について	
	9	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成に向けて			27	『万葉集』の宴席歌について	
	10	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成			28	『万葉集』巻八(1581～1591)の宴席歌群について	
	11	「国文学基礎講義」 歌謡とは			29	『万葉集』巻八の宴席歌群(1581～1591)の内容および構成について	
	12	「国文学基礎講義」 記紀歌謡			30	『国文学講義』I(上代) レポート課題1の作成	
	13	国文学基礎講義『古事記』における歌謡			31	『万葉集』 大伴坂上郎女の歌	
	14	国文学基礎講義『日本書紀』における歌謡			32	『万葉集』 テキスト以外にみえる大伴坂上郎女の歌の内容、特徴	
	15	国文学基礎講義 課題2 レポート作成に向けて			33	『国文学講義』I(上代) レポート課題2の作成	
	16	国文学基礎講義 課題2 レポート作成			34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の提出に向けて	
	17	「国文学概論」『古事記』における古記録「序文」			35	授業まとめ／振り返り	
	18	「国文学概論」『古事記』大和朝廷における政治的支配および時代背景			36	授業まとめ／振り返り	
成績割合		テスト 40%			学習FB方法	前期・後期 答案返却	
		学習態度・出席率 30%					
		レポート 30%			成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)					

シラバス

科目名		一般常識Ⅰ		担 当 者 名		松木 芳文		
学 科				授業方法		講義		
認定単位		2単位		開 講 期				
開講学年		1学年		必・選		選択		
授業時間数				授 業 時 間 数		36時間		
授業目的		社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。						
授業概要		数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション			19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション		
	2	数学2 数の計算			20	国語・社会2 漢字一字の読み		
	3	数学3 式の計算			21	国語・社会3 二字熟語の読み		
	4	数学4 因数分解			22	国語・社会4 慣用語の読み		
	5	数学5 平方根			23	国語・社会5 常用漢字外の読み		
	6	数学6 1次方程式			24	国語・社会6 漢字一字の書き取り		
	7	数学7 連立方程式			25	国語・社会7 二字熟語の書き取り		
	8	数学8 2次方程式			26	国語・社会8 同訓異字の書き取り		
	9	数学9 不等式			27	国語・社会9 同音異義語の書き取り		
	10	数学10 前期成績判定テスト1			28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り		
	11	数学11 数と量の文章問題1			29	国語・社会11 世界史		
	12	数学12 数と量の文章問題2			30	国語・社会12 日本史		
	13	数学13 割合の文章問題1			31	国語・社会13 思想・社会・文化		
	14	数学14 割合の文章問題2			32	国語・社会14 成績判定テスト		
	15	数学15 速さの文章問題			33	総復習①		
	16	数学16 前期成績判定テスト			34	総復習②		
	17	数学17 規則性などの文章問題			35	総復習③		
	18	数学18 まとめ			36	まとめ		
成績割合		テスト 80%			学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率 20%						
		レポート			成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点	
		合計 100%						
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫100% G≪海外体験型学習≫30%						
講師プロフィール		慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。						

シラバス

科目名		キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名		葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、山本 友梨香、野上 伴睦、井上 一輝	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位		2単位	開 講 期		選択	授 業 時 間 数	36時間
開講学年		2学年	必・選				
授業目的		卒後VISIONに磨きをかけ解像度を上げる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し、評価がランクアップをしていること。					
授業概要		学修&就活成果を最大化。卒後visionに基づく学修&就活PDCAを実践学習。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	オリエンテーション	
	2	自分らしさの軸を確認			20	改善計画の立案	
	3	業界・仕事の変化を探究			21	課題の体系化・仮説と検証	
	4	卒後VISIONを描き直す			22	学修機会の活用(テクノス祭)	
	5	社会人基礎力特別講座			23	(テクノス祭)	
	6	PDCAサイクルとは			24	計画の実行度を評価	
	7	学修目標と就活目標の設定			25	目標に対する改善計画	
	8	目標に対する計画立案			26	課題の体系化・仮説と検証	
	9	学修機会の活用(IW)			27	就活(インターンシップ)	
	10	計画の実行度を評価			28	就活(インターンシップ)	
	11	目標に対する改善計画			29	12月キャリア支援プログラム	
	12	就活(インターンシップ)			30	12月キャリア支援プログラム	
	13	社会人基礎力特別講座			31	最終報告	
	14	7月キャリア支援プログラム			32	最終報告	
	15	前期の学修と就活の振り返り			33	最終報告	
	16	中間報告会			34	卒後VISION提出	
	17	中間報告会			35	2月キャリア支援プログラム	
	18	中間報告会			36	2月キャリア支援プログラム	
成績割合		テスト 0%			学習FB方法	前期・後期 成績表送付 提出された卒後VISIONと各課題への評価。就活状況モニタリング。	
		学習態度・出席率 30%(課題の提出と就活モニタリング)					
		レポート 70%(卒後VISIONの提出)			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫10%					
講師プロフィール		キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。					

シラバス

科目名		一般常識Ⅱ		担 当 者 名		松木 芳文		
学 科				授業方法		講義		
認定単位		2単位		開 講 期				
開講学年		2学年		必・選		選択		
						授 業 時 間 数		
						36時間		
授業目的		社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。						
授業概要		数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。						
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容		
	1	数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション			19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション		
	2	数学2 数の計算			20	国語・社会2 漢字一字の読み		
	3	数学3 式の計算			21	国語・社会3 二字熟語の読み		
	4	数学4 因数分解			22	国語・社会4 慣用語の読み		
	5	数学5 平方根			23	国語・社会5 常用漢字外の読み		
	6	数学6 1次方程式			24	国語・社会6 漢字一字の書き取り		
	7	数学7 連立方程式			25	国語・社会7 二字熟語の書き取り		
	8	数学8 2次方程式			26	国語・社会8 同訓異字の書き取り		
	9	数学9 不等式			27	国語・社会9 同音異義語の書き取り		
	10	数学10 前期成績判定テスト1			28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り		
	11	数学11 数と量の文章問題1			29	国語・社会11 世界史		
	12	数学12 数と量の文章問題2			30	国語・社会12 日本史		
	13	数学13 割合の文章問題1			31	国語・社会13 思想・社会・文化		
	14	数学14 割合の文章問題2			32	国語・社会14 成績判定テスト		
	15	数学15 速さの文章問題1			33	総復習		
	16	数学16 前期成績判定テスト			34	まとめ		
	17	数学17 規則性などの文章問題			35	まとめ		
	18	数学18 まとめ			36	まとめ		
成績割合		テスト			数学 80% 国語・社会 80%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付
		学習態度・出席率			数学 20% (確認テストと出席) 国語・社会 20% (確認テストと出席)			
		レポート			なし		成績評価	
		合計			100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体験型学習>>30%						
講師プロフィール		慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。						

シラバス

科目名		大学支援 総合Ⅱ		担 当 者 名		若林 芳勝	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位		4単位	開 講 期		授 業 時 間 数		72時間
開講学年		2学年	必・選		選択		
授業目的		産業能率大学通信教育課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位修得に必要な学習支援を行う。 その際、経営的視点を養い、主に経営・マネジメントに関する基礎的な部分を理解することを重視する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		産能大のレポート・科目修得試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。					
授業概要		大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 前期・後期の単位修得科目は、主に以下を予定しています。 [前期]4科目:「企業家に学ぶ経営」「ストリートファッション論」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「スポーツに学ぶチームマネジメント」 [後期]4科目:「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「チームマネジメント論」「リーダーシップ論」					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	講義	
	2	オリエンテーション			20	講義	
	3	講義			21	講義	
	4	講義			22	講義	
	5	講義			23	講義	
	6	講義			24	講義	
	7	講義			25	講義	
	8	講義			26	講義	
	9	講義			27	講義	
	10	講義			28	講義	
	11	講義			29	講義	
	12	講義			30	講義	
	13	講義			31	講義	
	14	講義			32	講義	
	15	講義			33	講義	
	16	講義			34	講義	
	17	定期試験に向けて総まとめ			35	定期試験に向けて総まとめ	
	18	定期試験に向けて総まとめ			36	定期試験に向けて総まとめ	
成績割合		テスト 60%			学習FB方法		授業中に随時フィードバックを行います。
		学習態度・出席率 40%					
		レポート			成績評価		定期試験(小テスト・レポートを含む)、学習態度、出席率を勘案し、総合評価にて決定します。
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫ R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		経営・マネジメントの知識は社会に出てから必ず必要になります。一緒に学習しましょう。					

シラバス

科目名		大学支援 総合Ⅱ		担 当 者 名		宮坂 友造	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選		選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的		この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。					
授業概要		民法1、民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	刑法各論第2課題の解説②	
	2	オリエンテーション②			20	民法1第3課題の解説①	
	3	オリエンテーション③			21	民法1第3課題の解説②	
	4	民法2第1課題の解説			22	民法1第1課題の解説①	
	5	民法2第2課題の解説			23	民法1第1課題の解説②	
	6	民法1第2課題の解説①			24	民法2第3課題の解説①	
	7	民法1第2課題の解説②			25	民法2第3課題の解説②	
	8	民法1第4課題の解説①			26	民法2第4課題の解説①	
	9	民法1第4課題の解説②			27	民法2第4課題の解説②	
	10	民法2第2課題の解説①			28	民法5第3課題の解説①	
	11	民法2第2課題の解説②			29	民法5第3課題の解説②	
	12	民法5第1課題の解説①			30	民法5第4課題の解説	
	13	民法5第1課題の解説②			31	刑法各論第3課題の解説①	
	14	民法5第2課題の解説①			32	刑法各論第3課題の解説②	
	15	民法5第2課題の解説②			33	刑法各論第4課題の解説	
	16	刑法各論第1課題の解説①			34	まとめ①	
	17	刑法各論第1課題の解説②			35	まとめ②	
	18	刑法各論第2課題の解説①			36	まとめ③	
成績割合		テスト 0%			学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率 30%					
		レポート 70%			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫5%					
講師プロフィール		中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり					

シラバス

科目名		大学支援 総合Ⅱ		担 当 者 名		月本 直子		
学 科				授業方法		講義		
認定単位		4単位	開 講 期				授 業 時 間 数	72時間
開講学年		2学年	必・選		選択			
授業目的		「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びそのその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するレポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。						
授業概要		いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のレポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	講義概要説明			19	国語学概論 「文章と文体」		
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」			20	国語学概論 「敬語」		
	3	国文学史Ⅰ レポート作成			21	国語学概論 「日本語教育」		
	4	国文学史Ⅰ 和歌			22	国語学概論 「心理言語学」		
	5	国文学史Ⅰ レポート作成			23	レポート作成		
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観			24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」		
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」			25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」		
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観			26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」		
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」			27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」		
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」			28	国文学史Ⅱ 「耽美派」		
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観			29	国文学史Ⅱ 「白樺派」		
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」			30	国文学史Ⅱ 「『新思潮』と大正期教養主義」		
	13	国語学概論 概要説明			31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」		
	14	国語学概論 「音声と音韻」			32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」		
	15	国語学概論 「音声と音韻」			33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」		
	16	レポート作成に向けて			34	まとめ		
	17	国語学概論 「意味」			35	まとめ		
	18	国語学概論 「意味」			36	まとめ		
成績割合		テスト 70%			学習FB方法		答案返却時に解説をする。	
		学習態度・出席率 30%						
		レポート			成績評価		出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格	
		合計 100%						
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫60% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。						

シラバス

科目名		日本語演習Ⅱ(N1)		担 当 者 名		楊 陽、岡崎 志織	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位		4単位	開 講 期		授 業 時 間 数		72時間
開講学年		2学年	必・選		選択		
授業目的		授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。					
授業概要		教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	プレースメントテスト			19	日本語の読解及び文法17	
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1			20	日本語の読解及び文法18	
	3	日本語の読解及び文法 2			21	日本語の読解及び文法19	
	4	日本語の読解及び文法 3			22	日本語の読解及び文法 20	
	5	日本語の読解及び文法 4			23	日本語の読解及び文法 21	
	6	日本語の読解及び文法 5			24	日本語の読解及び文法 22	
	7	日本語の読解及び文法 6			25	日本語の読解及び文法 23	
	8	日本語の読解及び文法 7			26	日本語の読解及び文法 24	
	9	日本語の読解及び文法 8			27	日本語の読解及び文法 25	
	10	日本語の読解及び文法 9			28	日本語の読解及び文法 26	
	11	日本語の読解及び文法 10			29	日本語の読解及び文法 27	
	12	日本語の読解及び文法 11			30	日本語の読解及び文法 28	
	13	日本語の読解及び文法 12			31	日本語の読解及び文法 29	
	14	日本語の読解及び文法 13			32	日本語の読解及び文法 30	
	15	日本語の読解及び文法 14			33	日本語の読解及び文法 31	
	16	前期末試験			34	日本語の読解及び文法 32	
	17	日本語の読解及び文法 15			35	学年末試験	
	18	日本語の読解及び文法16			36	試験返却、解説、総復習	
成績割合		テスト 60%		学習FB方法		定期的にまとめテストにてフィードバック	
		学習態度・出席率 30%					
		レポート 10%		成績評価		出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫0% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。					

シラバス

科目名		日本語演習Ⅱ(N2)		担 当 者 名		楊 陽、岡崎 志織	
学 科				授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選		選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的		授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。					
授業概要		教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	プレースメントテスト			19	日本語の読解及び文法 17	
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1			20	日本語の読解及び文法18	
	3	日本語の読解及び文法 2			21	日本語の読解及び文法19	
	4	日本語の読解及び文法 3			22	日本語の読解及び文法 20	
	5	日本語の読解及び文法 4			23	日本語の読解及び文法 21	
	6	日本語の読解及び文法 5			24	日本語の読解及び文法 22	
	7	日本語の読解及び文法 6			25	日本語の読解及び文法 23	
	8	日本語の読解及び文法 7			26	日本語の読解及び文法 24	
	9	日本語の読解及び文法 8			27	日本語の読解及び文法25	
	10	日本語の読解及び文法 9			28	日本語の読解及び文法26	
	11	日本語の読解及び文法 10			29	日本語の読解及び文法27	
	12	日本語の読解及び文法 11			30	日本語の読解及び文法28	
	13	日本語の読解及び文法 12			31	日本語の読解及び文法29	
	14	日本語の読解及び文法 13			32	日本語の読解及び文法 30	
	15	日本語の読解及び文法 14			33	日本語の読解及び文法 31	
	16	前期末試験			34	日本語の読解及び文法 32	
	17	日本語の読解及び文法 15			35	学年末試験	
	18	日本語の読解及び文法 16			36	試験編みゃky、解説、総復習	
成績割合		テスト 60%			学習FB方法	定期的にまとめテストにてフィードバック	
		学習態度・出席率 30%					
		レポート 10%			成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59	
		合計 100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫0% G≪海外体験型学習≫0%					
講師プロフィール		大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。					